

第147回経営協議会議事録

日 時 令和6年6月21日（金）15時～17時20分

場 所 第一会議室

出席者 (学外委員)

門脇委員、小間委員、小向委員、長友委員、端山委員、平井委員、森(正)委員、
森(淳)委員、森口委員、安田委員

(学内委員)

大家理事、西岡理事、村松理事、笹井理事、阪口学域長、仲谷研究科長
(オブザーバー)

小池副学長、吉海監事、名取監事

議 題

議事録報告承認

1. 第144回経営協議会議事録報告承認 (資料①-1)
2. 第145回経営協議会(臨時)議事録報告承認 (資料①-2)
3. 第146回経営協議会(臨時)議事録報告承認 (資料①-3)

審議事項

1. 電通大発ベンチャー企業支援体制の整備について (資料②-1～3)
2. 令和5事業年度決算について (資料③-1～4)
3. 令和7年度概算要求について (資料④)

報告事項

1. 新執行部における運営組織と役割について (資料⑤)
2. 令和5年度計画実績報告について (資料⑥)
3. 令和6年度計画について (資料⑦)
4. 財務戦略におけるKPI(評価指標)について (資料⑧)
5. 令和7年度施設整備費補助金概算要求事業について (資料⑨)
6. 学長選考・監察会議(経営協議会選出)について (資料⑩)
7. 令和6年度経営協議会開催日程について (資料⑪)
8. 令和5年度監事監査に係る報告について (資料⑫)
9. 令和6年度監事監査計画について (資料⑬)

討議事項

1. 電気通信大学監事の4年間を振り返る (資料⑭)

議事に先立ち、大家理事から、所用により田野学長が本日の経営協議会を欠席するため、国立大学法人電気通信大学経営協議会規程第5条第2項の規定に基づき、大家理事が議長を代行する旨の報告があった。

議 事

議事録報告承認 第144回経営協議会議事録、第145回経営協議会(臨時)議事録、第146回経営協議会(臨時)議事録

大家理事から、第144回経営協議会議事録(案)、第145回経営協議会(臨時)議事録(案)及び第146回経営協議会(臨時)議事録(案)について説明があり、これを承認した。

審議事項 1. 電通大発ベンチャー企業支援体制の整備について

西岡理事から、科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律の改正により国立大学法人が法人発ベンチャー企業の発行した株式等を取得及び保有することが可能となったこと、さらに、本学が参画している Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE: ジータイ) (東京大学・東京工業大学・早稲田大学を主幹機関とした『世界を変える大学発スタートアップを育てる』プラットフォーム) において、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) のスタートアップ・エコシステム共創プログラムに採択され、当該事業において新株予約権、株式の取得等の体制整備が要請されているため、規程等の制定について説明があり、これを了承した。

(新規制定)

- ・国立大学法人電気通信大学におけるライセンス等の対価として取得する株式等取扱要項
- ・国立大学法人電気通信大学株式等管理規程

主な意見は次のとおり

(学外委員) デューデリジェンスの実施体制を学内に作ることができるのか。また、第三者への売却について、第三者を適切に選定することができるのか。

(学内委員) 本規程の趣旨はスタートアップがうまくいくように大学としてサポートするための仕組みとして考えている。内容についての議論がさらに必要であることは認識しており、今後も検討していく。

審議事項 2. 令和5事業年度決算について

笹井理事から、令和5事業年度における本学の取組みについて説明の後、令和5事業年度決算について説明があり、これを了承した。

審議事項 3. 令和7年度概算要求について

笹井理事から、令和7年度の教育研究組織改革分の概算要求として「共創進化スマート社会実現推進機構の創設」(継続)、「西東京三大学共同サステナビリティ国際社会実装研究センター(仮称)の設立」(継続)、「デザイン思考・データサイエンスプログラムの設置」(継続)、「UEC量子未来創生機構(仮称)の創設」(継続)、「先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センターの体制強化」(新規)、「e-テスト教育開発センター(仮称)の設置」(新規)及び「UECヒューマン・トランスフォーメーション研究機構の設立」(新規)の事業内容並びに4件の設備要求の概要について説明があり、これを了承した。

なお、今後の文部科学省との調整による内容の変更等については、学長一任とすることとした。

主な意見は次のとおり

(学外委員) 今回の概算要求でA I や量子関係の設備要求をしているが、世の中ではA I 向けチップが払底している状況の中で、調達できる見込みはあるのか。

(学内委員) A I 関係の調達が大変厳しい状況であることは認識している。調達部署や関係者と相談しながら対応していく。

- 報告事項 1. 新執行部における運営組織と役割について
大家理事から、令和6年度執行部における体制について報告があった。
- 報告事項 2. 令和5年度計画実績報告について
村松理事から、令和5年度計画実績報告書について報告があった。
- 報告事項 3. 令和6年度計画について
村松理事から、令和6年度計画について報告があった。
- 報告事項 4. 財務戦略におけるK P I (評価指標)について
笹井理事から、財務戦略におけるK P I について、令和5年度 of 取組状況について報告があった。
- 報告事項 5. 令和7年度施設整備費補助金概算要求事業について
笹井理事から、第146回経営協議会(持ち回り審議)において審議した令和7年度施設整備費補助金概算要求事業について報告があった。
- 報告事項 6. 学長選考・監察会議(経営協議会選出)について
大家理事から、第145回経営協議会(持ち回り審議)において審議した学長選考・監察会議(経営協議会選出)について報告があった。
- 報告事項 7. 令和6年度経営協議会開催日程について
大家理事から、令和6年度経営協議会開催日程について報告があった。
- 報告事項 8. 令和5年度監事監査に係る報告について
吉海監事から、令和5年度監事監査に係る報告があった。
- 報告事項 9. 令和6年度監事監査計画について
吉海監事から、令和6年度監事監査計画について、監査の基本方針を踏まえ、以下の監査事項を重点的に監査する旨の報告があった。
①教育力の向上と質の保証に関する体制及び方策
②研究力強化への取組状況
③男女共同参画・ダイバーシティの取組状況
- 討議事項 1. 電気通信大学監事の4年間を振り返る
吉海監事から、電気通信大学の監事としての4年間を通じて得た印象と大学運営の課

題等について説明があり、意見交換を行った。

主な意見は次のとおり

(学外委員) 目標があり、目標を達成するための計画を立て、計画に基づいて行ったことを評価する。評価の中には、外部評価というものもあるが、評価される側も評価する側も非常に負担が大きいため、できるだけ負担を軽減する努力をしていただくことが重要であると感じている。

(学外委員) 財源確保を行うために、評価ベースの部分が大きくなっていった時に、評価軸が全面に出されすぎてしまうと、イノベーションを阻害してしまう部分もあり、難しいところだと思う。

その中で、田野学長のリーダーシップの下でミッションや目指したい方向など、財源確保のためであっても、色々なことを行っているのだから、教員や学生に目指したい方向が少しずつでも共有されているのではないかと。

(学外委員) 両監事は、大学のことをよく考えてくださり、辛口なご意見をいただいたことは、大学にとっても、個人にとってもプラスになったと思う。

(学外委員) メディアで最近話題となるのが、日本の核になる技術がないということ。技術の日本のはずが、戦後の電気、製造、そういったことが強かった時代を通り越してITの時代になった時に、確たる技術があるのか、ということが大変心配である。日本が再び力を取り戻すためには、監事のおっしゃる、自主・自立、主体性というのが非常に大切だと思う。

(学外委員) 国立大学法人となり、中期目標・中期計画の達成度の評価にばかり関心がいつてしまい、画一化され、大学の独自性が薄れるということは否めないということを考える必要がある。

国立大学がそれぞれ独自性をもっと強めるような方向に持って行くべきである。

(学外委員) 大学は学生にとって、色々な可能性を見せてあげられる、試させてあげられる場所であってほしい。学生を育てようというのではなく、先生たちが新しい技術でこういう世界を作っていきたいということを見せながら、それをきっかけに学生が新しいテーマを見つけて自分なりにどうやっていくかを考える場になっていけばいいと思う。

(学外委員) 内閣府の行っている、スタートアップ等による研究開発を促進し、その成果を円滑に社会実装し、それによって我が国のイノベーション創出を促進するための制度（日本版のSBIR）は、スタートアップ等の中小企業の経営者に注目した制度なので、技術が優れているからといって、どうこうできるわけではない。最終的には学生や若い教員たちの起業へのチャレンジ精神が一番のポイントになるのではないかと。

(学外委員) 大学とはいったい何のためにあるのか、何をすべきかということを改めて議論する必要があると思う。

企業が大学に期待することがいくつかあるうちの一つは、人を大事に育てていただくことで、大学は経験を積む場としては非常に有効な機関であると思う。

(学外委員) 私は電通大の卒業生であり、大学をよくしたい、母校をよくしたいということは常に意識している。監事のお話にあった、チャレンジマインドは非常に大事であると思う。

(学外委員) 今の時代は多様性と流動性が大変重要であり、そのこと念頭に置きながら、電気通信大学の経営協議会で今後のことについて議論していきたい。

(学内委員) 2期8年間監事を行い、その間に、田野学長には、男女共同参画・ダイバーシティ

の推進をお願いしていた。経営協議会学外委員の安田委員、明谷理事、さらに男女共同参画・ダイバーシティ担当として渡邊副学長が就任され、女性の役職者の方が増えたことは、非常に喜ばしいことである。

なお、電気通信大学に女子学生を増やしていただくことについても、引き続きお願いしたい。

[配付資料]

- ①-1. 第144回経営協議会議事録（案）
- ①-2. 第145回経営協議会(臨時)議事録（案）
- ①-3. 第146回経営協議会(臨時)議事録（案）
- ②-1. 電通大発ベンチャー企業支援体制の整備（案）
- ②-2. 電気通信大学におけるライセンス等の対価として取得する株式取扱要項（案）
- ②-3. 国立大学法人電気通信大学株式等管理規程（案）
- ③-1. 財務ハイライト
- ③-2. 令和5事業年度財務諸表（案）
- ③-3. 令和5事業年度事業報告書（案）
- ③-4. 令和5年度決算報告書（案）
- （参考資料）令和5年度 国立大学法人電気通信大学の役職員の報酬・給与について
- ④. 令和7年度概算要求について
- ⑤. 2024年度執行部の体制と役割
- （参考資料）学長トーク(2024.6.6)資料<抜粋>
- ⑥. 第4期中期目標・中期計画・年度計画 令和5年度実績報告書
- ⑦. 令和6年度 国立大学法人電気通信大学 年度計画
- ⑧. 財務戦略におけるKPI（評価指標）について
- （参考資料）電気通信大学における財務戦略について（令和5年度更新版）
- ⑨. 令和7年度施設整備費補助金概算要求事業について（報告）
- ⑩. 学長選考・監察会議（経営協議会選出）について
- ⑪. 令和6年度経営協議会開催日について
- ⑫. 令和5年度監事監査に係る報告について
- ⑬. 令和6年度監査計画の提出について
- ⑭. 電気通信大学監事の4年間を振り返る